

刈谷知立環境組合中期計画ビジョン

基本理念、基本方針、施策、財政

●建設時における地盤面嵩上げ対策の安全性

図-1 水害情報マップ (かりマップ)

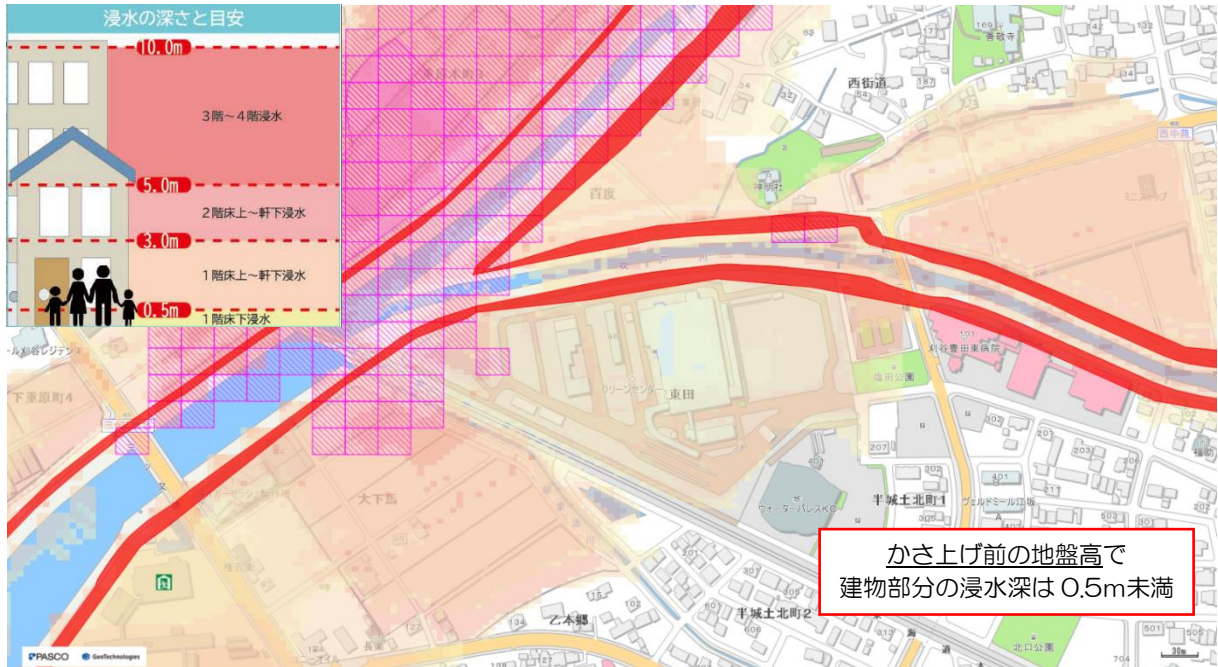


図-2 高潮浸水マップ (かりマップ)



●取組み③ 基幹的設備改良工事の実施による長寿命化の推進

表-1 機器の劣化状況を把握するために実施されている検査

検査方法	測定項目	対象機器	検査方法	測定項目	対象機器
深層部検査	減肉	過熱器、エコマイザ	音響法	聴診棒の音	ポンプ、ファン等の回転機器他
発電機絶縁検査	絶縁劣化状態	タービン発電機	ハンマリング法	打撃音、感触	機械、構造物、耐火物
ケーシング精密検査	板厚	バグフィルタ本体	浸透探傷試験	欠陥	ボイラ、タービン、主要弁類
ロボット肉厚測定	減肉	ボイラ水管	寸法・隙間測定	摩耗、伸び、膨張	コンベヤチェーン、スクリュー、耐火物他
磁気探傷検査	傷の有無	ボイラ水管	超音波測定	摩耗、減肉	ケーシング、配管
振動加速度計測	振動加速度	回転機器	水圧検査	耐圧	ボイラ
触媒劣化分析	触媒の性状	脱硝反応塔	絶縁抵抗試験	絶縁抵抗値	電動機、発電機
振動法	周波数	ポンプ、ファン等の回転機器	温度測定	回転体軸受温度	回転機器

注) 緑色は高度機能診断とするもの。

図-5 ロボットによるボイラ水管の肉厚測定結果例 (現在実施中)

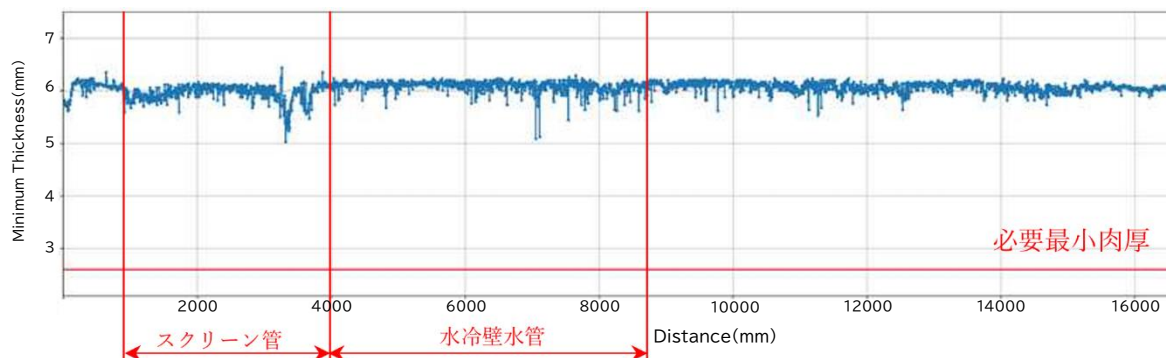


図-6 肉厚測定結果によるボイラ水管の余寿命予測例 (現在実施中)

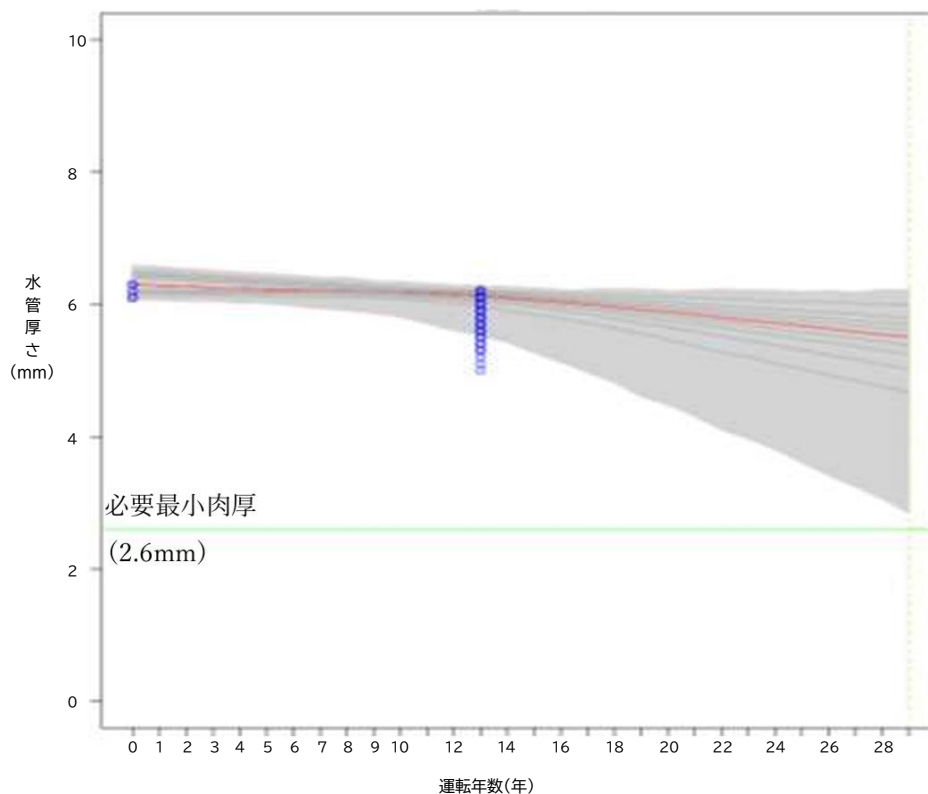
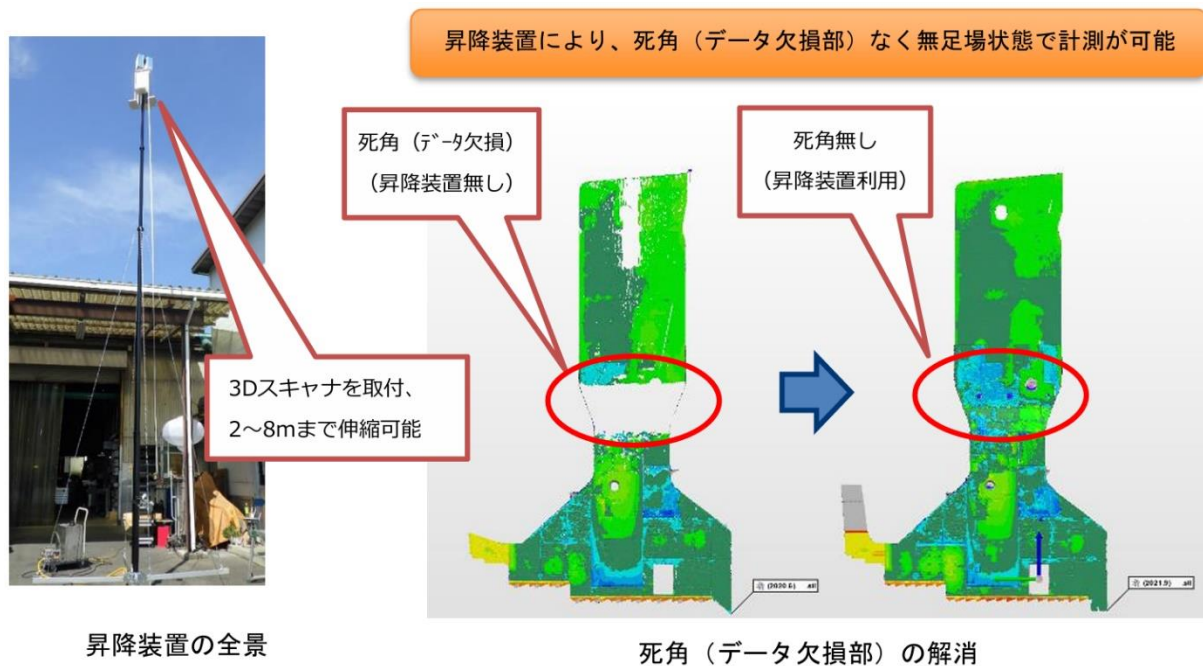


図-7 昇降装置を活用したボイラ耐火物の損傷状況調査結果の例（導入を検討）



●取組み④ 搬入車両の渋滞対策

図-8 優先車両の経路短縮化（ショートカット）（現在実施中）

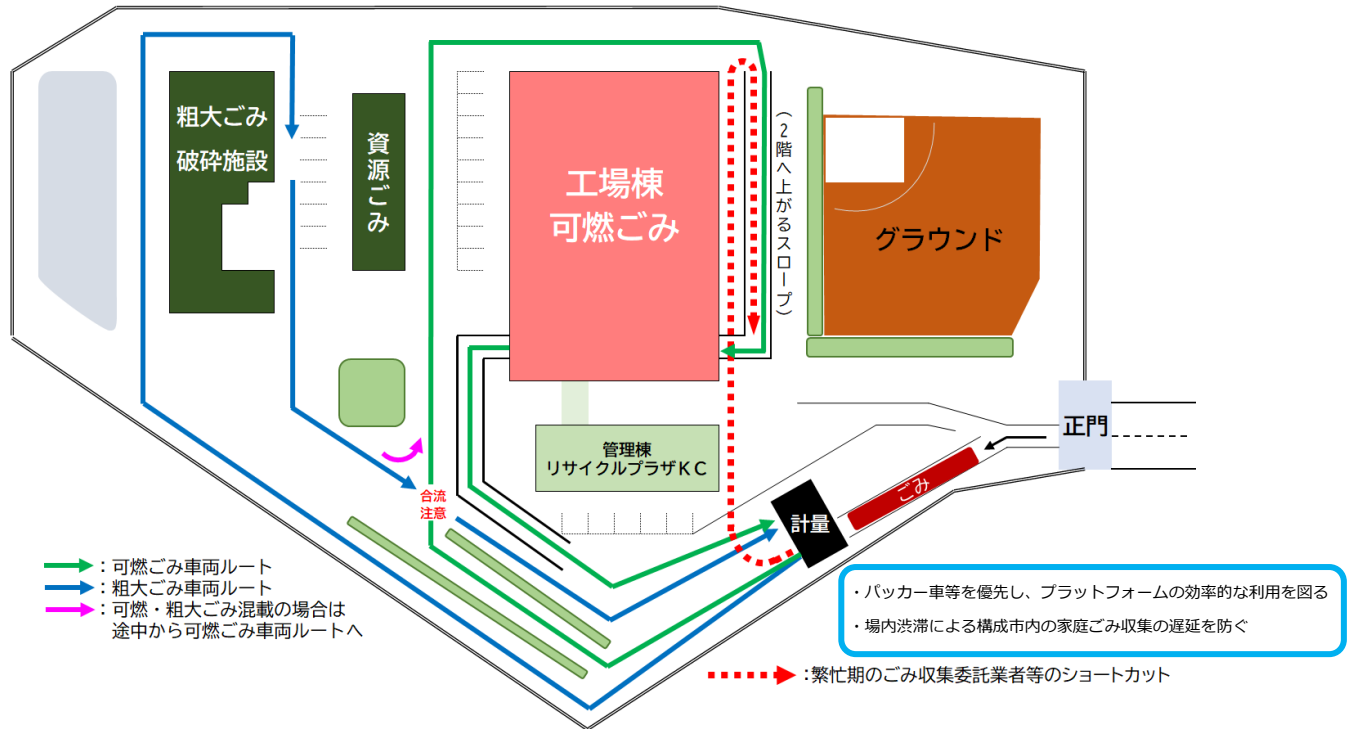


図-9 ワンストップ受付（導入を検討）

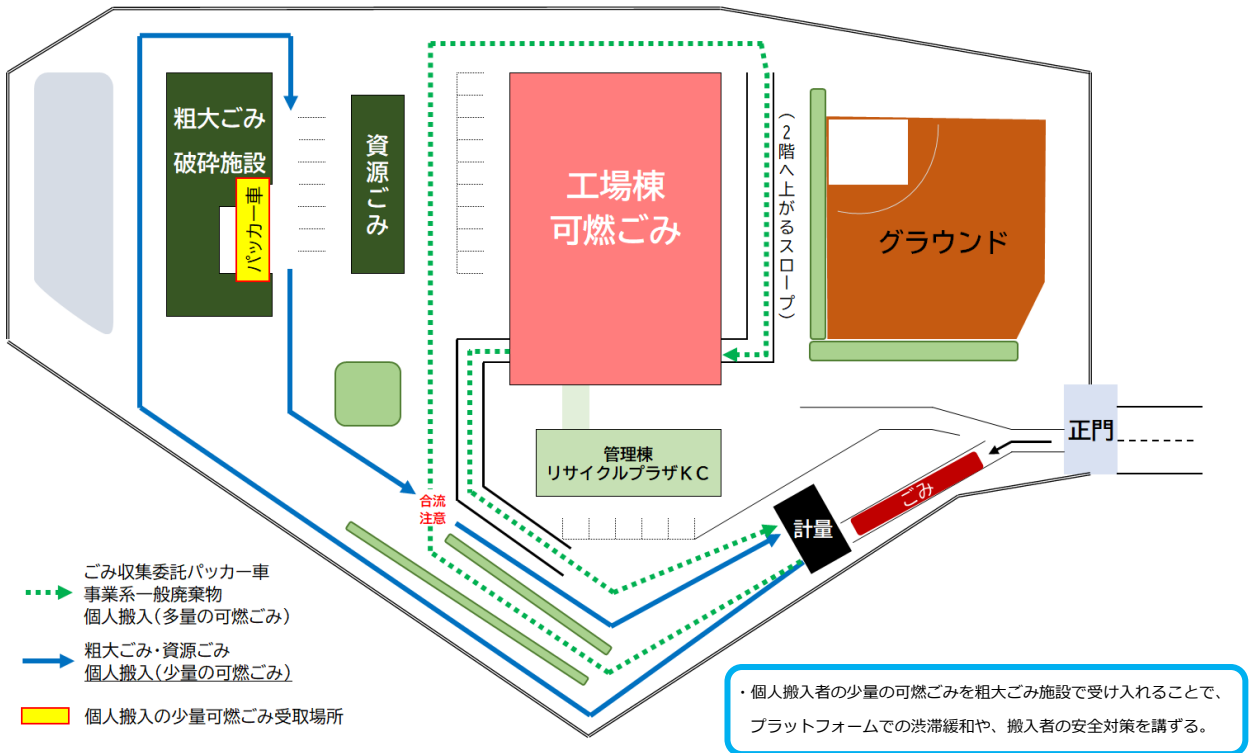
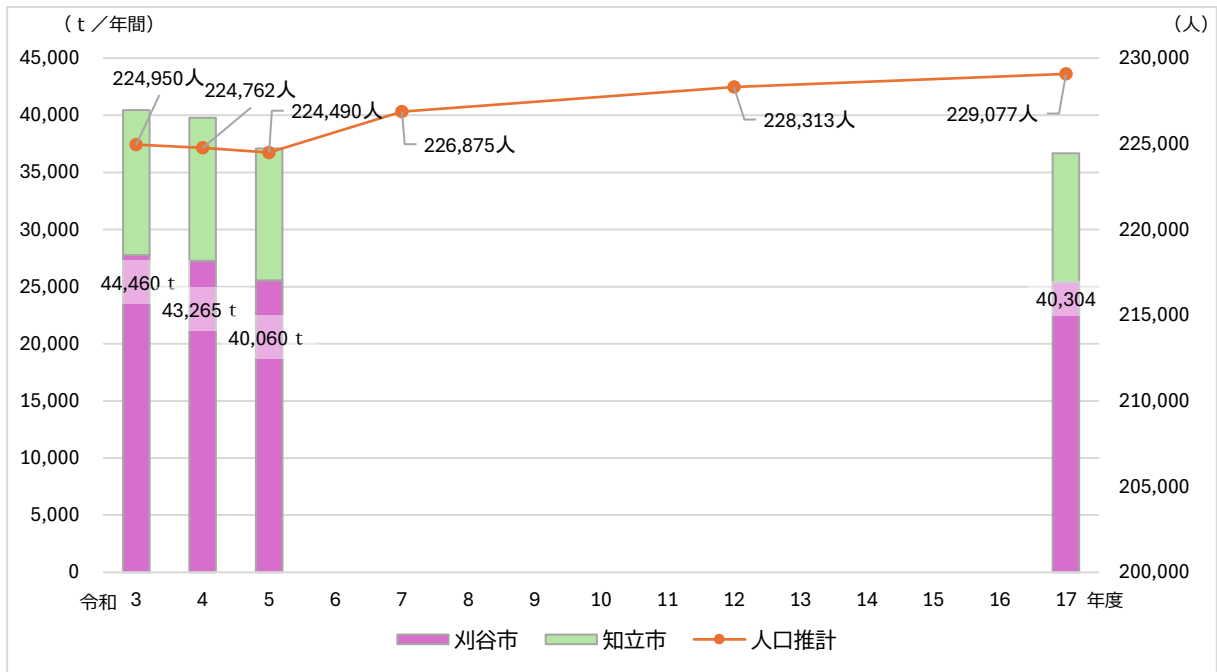


図-11 家庭系ごみ搬入量推計



●取組み⑧ ごみの資源化の推進（リサイクル品目、焼却灰再資源化）

表－４ 全国の焼却灰再資源化率の推移

環境省：一般廃棄物処理実態調査結果より

項目	平成							令和			
	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
埋立量(t/年)	3,456,268	3,334,924	3,213,902	3,163,233	3,054,279	2,970,758	2,922,478	2,948,564	2,818,408	2,673,367	2,648,022
資源化量(t/年)											
溶融スラグ	521,912	545,663	568,207	558,013	546,793	541,011	531,533	540,481	523,393	518,747	513,696
セメント原料化	274,484	308,946	305,063	329,834	353,528	375,526	378,223	434,848	470,776	474,971	458,759
金属類	61,785	67,232	65,905	63,903	66,056	67,530	73,503	72,328	80,769	75,549	68,407
飛灰の山元還元	36,700	33,435	37,364	34,137	34,664	36,596	35,803	30,939	39,222	41,210	40,987
その他	196,398	190,502	201,884	212,528	224,165	199,461	208,797	234,710	252,497	263,756	221,901
資源化量計	1,091,279	1,145,778	1,178,423	1,198,415	1,225,206	1,220,124	1,227,859	1,313,306	1,366,657	1,374,233	1,303,750
合計	4,547,547	4,480,702	4,392,325	4,361,648	4,279,485	4,190,882	4,150,337	4,261,870	4,185,065	4,047,600	3,951,772
資源化率(%)	24.0	25.6	26.8	27.5	28.6	29.1	29.6	30.8	32.7	34.0	33.0

全国的に10年間で焼却灰の再資源化率が9%上昇
これからも再資源化が進んでいくと見込んで、今後10年間で再資源化率40%を目指す

表－５ 当クリーンセンターの焼却灰資源化量の推移

項目	年度	令和 3年1月～灰溶融炉廃止							
		平成30	令和元	2	3	4	5	6(見込)	7(予定)
灰の総排出量(t/年)(A)		7,220	7,840	7,731	8,126	7,782	7,311	7,859	7,508
資源化量(t/年)(B)		2,081	2,723	1,826	357	343	996	1,500	1,650
溶融スラグ(売却)		452	486	462	148	0	0	0	0
溶融スラグ(構成市覆土)		1,510	2,155	1,251	0	0	0	0	0
溶融メタル		119	82	113	0	0	0	0	0
資源化委託		0	0	0	209	343	996	1,500	1,650
資源化率(%) (B)/(A)		29%	35%	24%	4%	4%	14%	19%	22%

●取組み⑨ CO₂削減に資する機器導入の検討

図-12 CO₂削減目標

